

## 充実した人生

「人生」という言葉があります。誰もが人生は一度きりです。そう考えると、「充実した人生」を送りたいと願うのは当たり前のことです。皆さんは、この先の人生をまだ経験していないわけですから、充実した中学校生活と言われても、なかなか考えられないでしょう。中学校生活を二度送ることができるとしたら、多くの人が充実した中学校生活を送ることができるかもしれません。そうはいかないところが、人生のむずかしいところです。

「密度（みつど）の濃（こ）い人生」というものもあります。皆さんなら、密度の濃い中学校生活となります。中学校生活は、誰でも3年間です。これは、平等に公平に与えられた時間です。問題は時間の密度です。これは、人によって変わってきます。

例えば、ある土曜日に、家の中で一日中ごろごろと過ごしていた人と、午前中に部活動で汗をかき、午後には、県立美術館に絵画を見に行き、夜には2時間ほど勉強した人とは、時間の密度は、まったく違います。

このことは、人生についても言えます。人生80年として、ただ何となく人生の日々を過ごした人と、一日一日を大切に生きてきた人とは、その密度には、何倍もの違いが生まれてしまいます。

人生80年と言われてもピンとこないでしょうから、まずは中学校の3年間のことを考えましょう。一日一日を大切に過ごすということは、一日一日を振り返るということです。「今日は、こんなことがあった」「今日は、こんな失敗をしてしまった」「今日は、こうだったから、明日からはこうしよう」などと考えることです。

はっきりとわかっていることは、過ぎ去った日々は、決して戻ってはこないということです。かけがえのない一日は、決して戻ってはきません。それにもかかわらず、私たちは、与えられた一日一日を大切に生きようとはしていないかもしれません。まだまだ自分の人生は続くと思っているからです。

長い人生の中で、中学生としての3年間は、わずかな時間かもしれませんが。高校生の3年間もそうです。しかし、これらの3年間は、いかに充実しているか、どれだけ密度を濃くできるかは、その後の人生に大きく影響してきます。なぜなら、大人になる時期、大人に向かっている時間だからです。

今日という一日を、精一杯に、生きるのではなく「生き切る」と考えてはどうでしょうか。悔いはないか。思い残すことはないか。それが、生き切るです。生き切ることで、密度の濃い、充実した人生となります。